

授業科目名: 教科(音楽)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 坂田 映子 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	小学校教員の実務経験を持つ教員が、音楽科教育指導ができるよう、音楽の基礎・音楽科各領域の知識・技能を指導する。		
科目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・音楽		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
1 教育における音楽の役割、意義について理解する。 2 音楽理論を理解し、教材の楽曲分析の仕方、伴奏付けについて身に付ける。 3 歌唱発声法、音楽づくりの方法、楽器の扱い方や奏法について理解する。 4 我が国の伝統音楽や諸外国の音楽を鑑賞し、音楽的特徴について理解する			
授業の概要			
本授業では、音楽を指導するうえで必要な音楽の役割・意義及び教材等について学修し、音楽の基礎を身に付ける。具体的には、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の指導のもとになる理論を修得し、実践的指導に資するようにする。			
授業計画			
第1回:教育における音楽の役割、意義についての理解。 第2回:楽典、[共通事項]、音楽構造等についての理解。 第3回:簡易なコード理論の理解。 第4回:曲のコード伴奏の理解。 第5回:「歌唱」のラーニングプロセスの理解。 第6回:「共通教材」の教材分析の理解。 第7回:「器楽」リズム楽器の扱い方と演奏の仕方の理解。 第8回:リコーダーのラーニングプロセスの理解。 第9回:器楽アンサンブルの演奏聴取と理解。 第10回:「歌唱・音楽づくり」の身体表現等の表現方法の理解。 第11回:「音楽づくり」の即興表現とICT活用の理解。 第12回:「お囃子」譜例の理解。 第13回:我が国の伝統音楽について、音楽的特徴の理解。 第14回:諸外国の民俗音楽等の音楽的特徴についての理解。 第15回:まとめと考察 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
初等科音楽教育研究会編(2020)『改訂版 最新 初等科音楽教育法 2017年告示「小学校学習指導要領準拠」』音楽之友社 9784276821026 文部科学省『小学校学習指導要領解説 音楽編』(2018)東洋館出版 978-4-491-03465-2			
参考書・参考資料等			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%) □			